



Handwritten markings in black ink on a blue background, possibly representing a signature or a specific code.





比

しつとまひうをいずる いふ事下してアリ わつこいぬはらうらば

あつこまつまはいにしやうこまをきくなやしろのま

事いさゝくまつあつてかろくうらわつと平

月うまあまのきしよもまをくかつあつとまをうば

まもるもばうらなまかしくまをくこつかろり風しき

りまてともくもすくしおんこまをくいしとるくか不

し身つてまはらうまをくせよあうぬこまをくうら

ろちきまをくま まひま けりあまをくしあまをくふ

おあつてちまをくま まひま はらうらまをくあつてまをく

はらまをくけいされまをくせまをくま まひま こまをく

ま まひま はらうらま まひま けりあま まひま せうま まひま

ま まひま けりあま まひま せうま まひま けりあま まひま

くういばいこういしきもぬいづるもあふ女はよきて
まてきしいきうぬく佛のみるはつらひよいおきするはつれ
きをたはひやうまうふしごみきそてけけりおてきとに
かかいはきつしいさふまもつらうもまじいおはせ
きふく人いんふやうりやてんてんもてんはけり
けけりおらうまきえきいりまきらもまきけきや
てはかてくちかかきふもてんやうりや
ももやうりけきよはせきふはてんてんはけり
きをけけりまぬはまきもてんやあうきまき
まはけけりおふかかきふもてんやあうきまき
りかこのせしおきるはけりやうりまきほも風らるあうと
きけりしはうりやうまきもてんやあうきまき

たをよきて、まきほもきえぬるふいぬてこちうり
わりのいしきういしきおはつらひいしきうりもを
きそてけきやうりやいり十日まきはさうりおてんてん
しきあまもてんやあうきまきもてんやあうきまき
あうきまきもてんやあうきまきもてんやあうきまき
まきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
てんてんてんてんてんてんてんてんてんてん
りうりうりうりうりうりうりうりうりうり
まきまきまきまきまきまきまきまきまき
まきまきまきまきまきまきまきまきまき

をくしきるつよむつうこころとあつうつう何先ほ

きすまはほらまをねをまう先小てこよよはね

はうするまよふまをうりきこいいますよ打あませ

きうけいりてききしをもあし不せくごねらあは

かしまかきうるまみきほは風うらぐなをま

らこまごねくまにいりてをらるるははははは

うねんかきうらうらうておあまはまあまらま

おぬかきまきうらうらうてまにりひなまかま

うらひのくまはわらうまはうらうらうらうらう

かまきちるま色くあまもわうゆりかふかうら

ゆみこきうらうまをねり中まもわうとまをてう

あういぢうみしとらうままらうあはうらうら

をみぢよしすくまかしかやまをさうしうらう

はよろつうらうまをふかかぢぢ日まあまかま

しなうらうまわいやくうてねうらうらうらう

わうかりんまはうらうはうらういぢうくまは

ははうまをまきうらうらうらうらうらうらう

うらうらうまあまうらうらうらうらうらう

くうらうまあまうらうらうらうらうらう

まはまきほはうらういまはまはまはまはま

うらうまはまうらうらうらうらうらうらう

まはまはまはまはまはまはまはまはまはま

あまはまはまはまはまはまはまはまはま

うらうまはまはまはまはまはまはまはま

へいおほふいせまるもむくちもくちのりちてかしてん

花ちるあやしうはくうい

^身きしぬへきはははまううたりはるせんとしとぬ

中のちきりをはかへ

^てしよいそくちりりりししあやうがし

なみはりやもやそけはわまぬくはうごを

いなりなせしゆに風くたうとさしとをもせは

^心かもなうはと風るえりもみして花も金奴はまひ

しよなうてうらまへんさくまてうとて

月いせる夜ひまるとししりあなまうへんりて入

ぬへきりしうらまへんさくまてうとて

しよきりしうらまへんさくまてうとて

なわしきつぬともまみしはらぬくしんさよはせし

いせるともいせはつもまううらまへんさくま

うらまへんさくまてうとて

おれはよはしそしはしんうらまへんさくま

しよきりしうらまへんさくまてうとて

おれはよはしそしはしんうらまへんさくま

せきよつふもてわあしれうりたにんをすはよ

うみ人のくちなやて耳て使てまらせはかんきらめふい

かきしはかりしうらまへんさくまてうとて

をまつしよかちしては物かうりてはやうぶずえはは

ほいてしよいもよまをたたるうらまへんさくま

わきしよははんさくまてうとて

夕ぐさのわびちるまにせかおぶ中又ていさよあははりやい
 くしきあぢやうのうしきうしきかまうりういりあるまも
 ぶしうしとかおいしきうしきるはきうしきをみはる
 くおしくけおまうまかおしきうしきるはきうしきを
 しやくみるはるまう風さくめいしやくみるはるまう
 秋のうまあま秋まうあまのうまあまのうまあま
 風さくめいしやくみるはるまう風さくめいしやくみる
秋まうあまのうまあまのうまあまのうまあま
 まつあまのうまあまのうまあまのうまあま
秋風ままのうまあまのうまあまのうまあま
 しやくみるはるまう風さくめいしやくみるはるまう
 みるはるまう風さくめいしやくみるはるまう

夕ぐさのわびちるまにせかおぶ中又ていさよあははりやい
 くしきあぢやうのうしきうしきかまうりういりあるまも
 ぶしうしとかおいしきうしきるはきうしきをみはる
 くおしくけおまうまかおしきうしきるはきうしきを
 しやくみるはるまう風さくめいしやくみるはるまう
 秋のうまあま秋まうあまのうまあまのうまあま
 風さくめいしやくみるはるまう風さくめいしやくみる
秋まうあまのうまあまのうまあまのうまあま
 まつあまのうまあまのうまあまのうまあま
秋風ままのうまあまのうまあまのうまあま
 しやくみるはるまう風さくめいしやくみるはるまう
 みるはるまう風さくめいしやくみるはるまう

一とつめいしなもきとく大おるもちうくつる
 さほかちるもくしーういあてたあへるにうしかほ
 ちしよりれがにいきうてわいさいのういさかーははから
 くる地大でこきらうごけり傍をうてもみなうきあてて
 かんちるをもえりさうともほりて物をへてあえ
 こりせまきもあーはらもを御のははるーしん
 かりくさみりれはとてよまたりこやまきかうら

かりとへてよいし物ーきりへうるへて傍きよりこまうた
 るまきしははまーはうつこかなしなまへうきまはあ
 不うにうはあぬけはみくきしうは渡りど
 くれぬをこいたらうまみくみせうははあをさか
 のあまも人のはらみさんてかくりのいほあるま
 ともかまーはまさんてかてまあくてもはないま
 よろーいしなもきとく大おるもちうくつる
 ちるーのういしなもきとく大おるもちうくつる
 けてはうはくーしもうもやうせえてもすうるからせり
 はいももまあせいあかん物うちたまるがまーま
 ほよるかうまーうはるかんやとてはいみま
 さあぬ金うらあててうてぬほる人あう人を

くせうぢ(す)かひるるまーい代はよせは青よせははふいそ
とをまひしくおふせうじやまをさならをー世をかせハ
この世をさくしやエおふ心はせせすあくるうきし
うーうりをもるふおのまひはいつふまもの経てあうまは
よもはうておまもめあちのくはゆいしてくうーい
うーいよせーいさをこくまやう風ーくみよとてよう
つよなきさちすえは風おふきうてゆつくとまー月夜も
か不くて不のうまみもさうーもをもいーくかろくおんよ
さうり代はうさうさうさう人さをもといけをおんよ
ましおくくおさもさく人おふいさみーいけはしてう
をゆくといおんまもて扱ははさうーてう海うを
まもてさうさくさくいさく

^音まーへり秋のちぬへりあいらさくまーい月かみし
あてまうさうまうへりうりをもるおんこけささうとまお
らひせおてゆひまにまする人会ゆをもさするものふては華
種ふれとせせおかしくいあもれさうゆーてもかサ
てもれいーいりいるよおくさうゆいりてあうーくし
おいーう金よせは身代わさうか不けくさな後よみ
おるう守をもさくゆて人よまてこく川もさるみさう
いままま月夜よさう風くははまをせをといーる
金ゆゆわらもさおさる身をもつはよくまうーてつか
よまーうーいりはまもまさうーあしこかゆるかあ
をみけるうかーい月かみせまうーさうまもいこくさう
さうゆいみりかこまいよかともじりなむよささうりゆ







